

国内シェア **80%**<sup>※</sup>

電子契約のスタンダード「クラウドサイン」





会社名	弁護士ドットコム株式会社 (英文表記：bengo4.com,Inc.)
所在地	〒106-0032 東京都港区六本木四丁目1番4号 黒崎ビル6階
設立	2005年7月4日
資本金	436百万円 (2018年6月現在)
上場市場	東京証券取引所マザーズ [証券コード：6027] 2014年12月11日上場

### 弁護士ドットコムとは

日本最大級の法律相談ポータルサイトです。  
弁護士への無料相談、地域や分野などから弁護士や法律事務所の検索サービスを始め、  
法律トラブルの解決をサポートするコンテンツを多数ご用意しています。





## 業務スピードの低下

郵送にかかる時間は数時間～数日  
相手が出張の場合は未確認状態が続きます  
捺印依頼のため本社への郵送や  
法務部での契約書スキャンの手間も



## 取引先満足度の低下

「今すぐに契約したいが始められない」  
「貴社からの書類が大量で業務を圧迫」  
知らないうちに取引先から  
こう思われています



## 膨れる間接コスト

郵送したり、倉庫に保管したり  
文書管理システムを導入するなど  
間接コストが膨らんでいきます  
(電子契約は印紙税も不要)

電子契約でスピードを優先すると  
安全性が失われるのではと悩んでいませんか？



紙の契約書

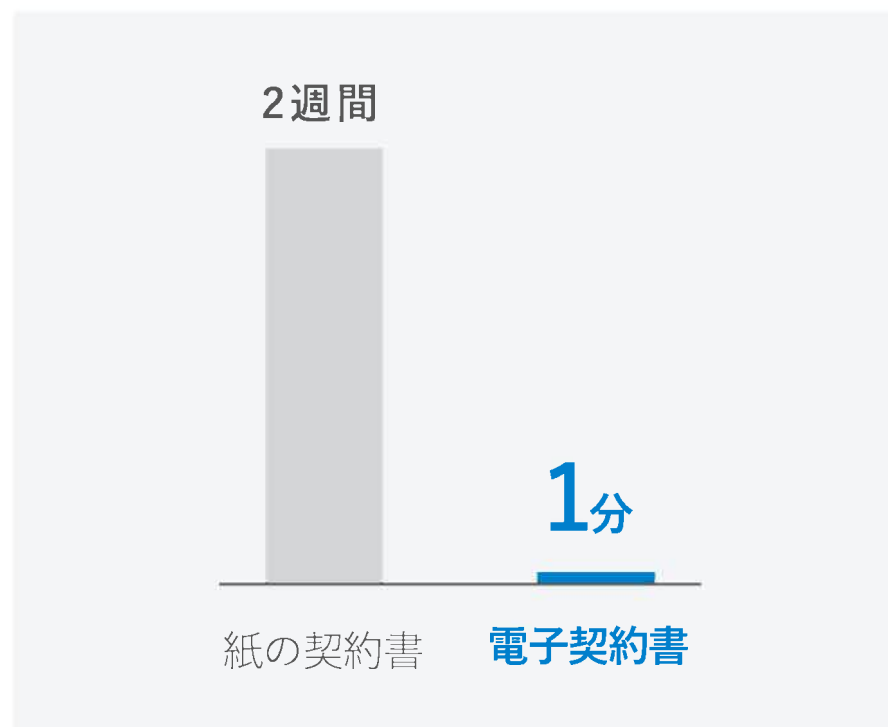
遅いけど安全？



電子契約書

早いけど危険？

## 電子契約ならスピードアップも安全性も実現できます



契約締結までの  
リードタイムの短縮

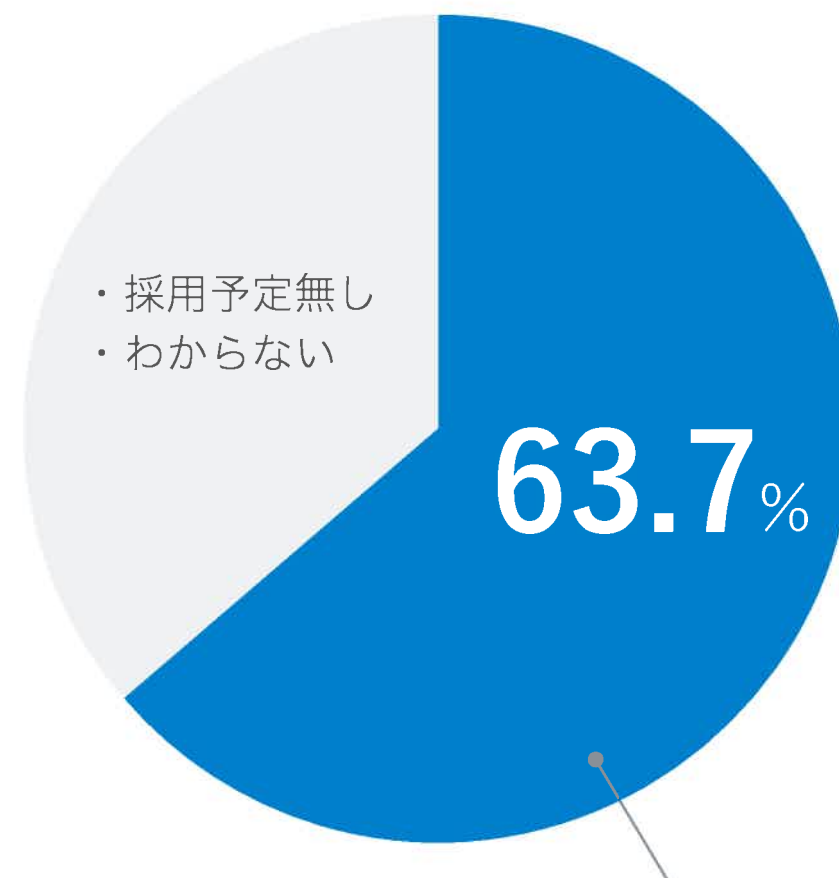
メール・ドメイン連動の  
本人認証

電子署名 + 認定タイムスタンプ  
で契約時点の完全性を担保

コンプライアンスと  
セキュリティ強化

電子契約普及率は既に**43.1%**、検討中を含めれば**63.7%**に

※JIPDEC2018年調査



- ・ 電子契約を**採用**している**43.1%** ※一部採用も含む
- ・ 電子契約の採用を**検討**している**20.6%**

[https://www.jipdec.or.jp/library/itreport/2018itreport\\_spring.html](https://www.jipdec.or.jp/library/itreport/2018itreport_spring.html)

# クラウドサインで電子契約

## 契約締結から契約書管理まで可能な クラウド型の電子契約サービス

契約交渉済の契約書をアップロードし、相手方が承認するだけで契約を結ぶことができます。  
書類の受信者はクラウドサインに登録する必要がありません。





## 人事系

雇用契約書  
労働条件通知書  
身元保証書 採用内定通知  
入社誓約書(入社承諾書)

## 売買系

物品売買契約書  
土地売買契約書  
建物売買契約書  
不動産売買契約書

## 賃貸借系

建物賃貸借契約書  
土地賃貸借契約書  
駐車場使用契約書  
建物使用貸借契約書

## 営業・購買系

取引基本契約書  
サービス利用申込書  
注文書 注文請書 請求書  
領収書

## 金銭貸借系

金銭消費貸借契約書  
金銭借用書  
債務承認弁済契約書  
債権譲渡契約書

## 業務委託・請負系

業務委託契約書 請負契約書  
建設請負契約書 販売特約店契約書  
代理店契約書 商品販売委託契約書  
供給契約書 製造委託契約書

## その他

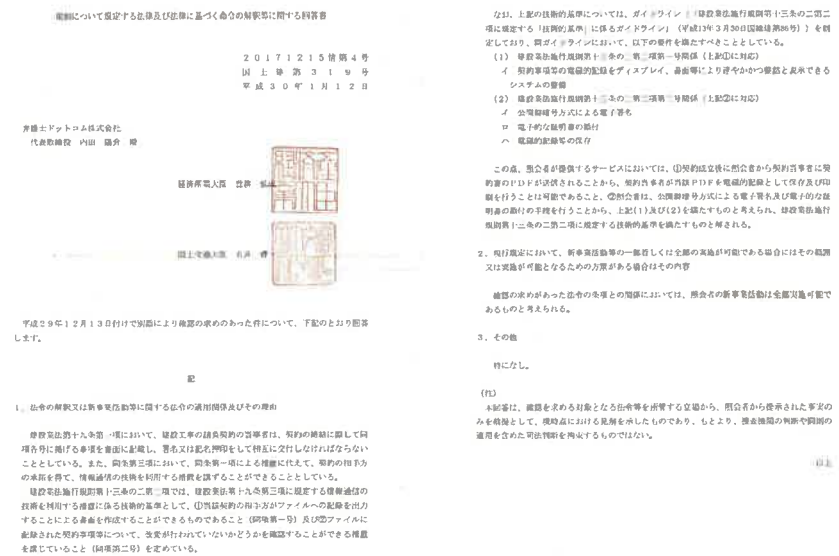
秘密保持契約書 機密保持契約書 株式譲渡契約 個人情報取扱同意書  
契約変更合意書 契約解除通知書 遺産分割書 死因贈与契約書  
著作権譲渡契約書 合併契約書 取締役会議事録

# 国内電子契約市場を牽引

日本の電子契約市場の立ち上がりを支え、政府へのIT化戦略のご提言を始めとし、電子契約の普及とともに、事業を成長させてきました。



政府へのIT化戦略のご提言



グレーゾーン解消制度を利用した電子契約の適法性を確認

## 商業登記添付書類についても、クラウドサインが利用可能に

法務省の求める電子署名の要件を満たすものとして、電子署名を施した取締役会議事録や契約書面等を商業登記のオンライン申請に添付することが可能となりました。

※クラウドサインを含む、法務省の指定するサービスのみとなります。ご注意ください。

法務省 MINISTRY OF JUSTICE

商業・法人登記のオンライン申請について

◇ 添付書面情報の場合

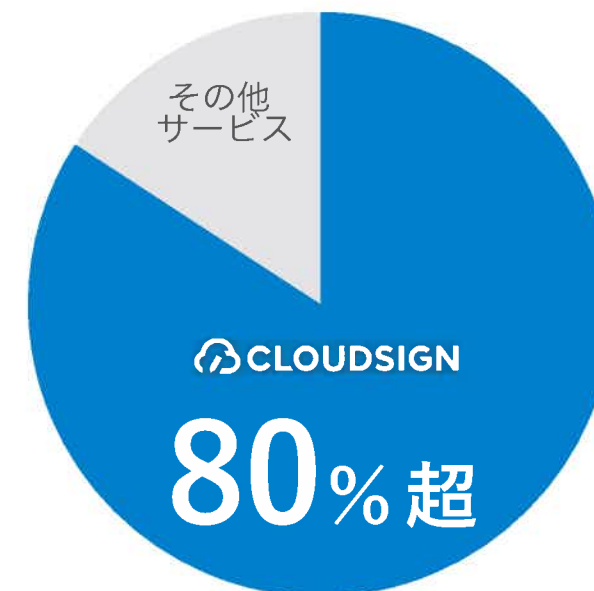
添付書面情報作成者の印鑑提出の有無等	当該作成者について規則第33条の3等該当の有無(注1)	送信すべき電子証明書の種類
添付書面情報作成者が印鑑提出者である場合	該当しない (商業登記電子証明書を取得することができる 印鑑提出者)	商業登記電子証明書(注2)
添付書面情報作成者が印鑑提出者でない場合	該当する (商業登記電子証明書を取得できない印鑑提出者)	公的個人認証サービス電子証明書(注3)、特定認証業務電子証明書(注4)又は指定公証人電子証明書(注5)  (1) 公的個人認証サービス  (2) 特定認証業務電子証明書  ア 「セコムパスポート for G-ID」 (セコムトラストシステムズ株式会社) (氏名及び住所を確認することができるとに限る。)
	その他	上記(1)～(2)に加えて、  (4)その他 ア 「Cybertrust iTrust Signature Certification Authority」 (サイバートラスト株式会社) (弁護士ドットコム株式会社が被認証者になっているものに限る。)

2020年6月15日付



# 電子契約市場シェア No.1<sup>※</sup>

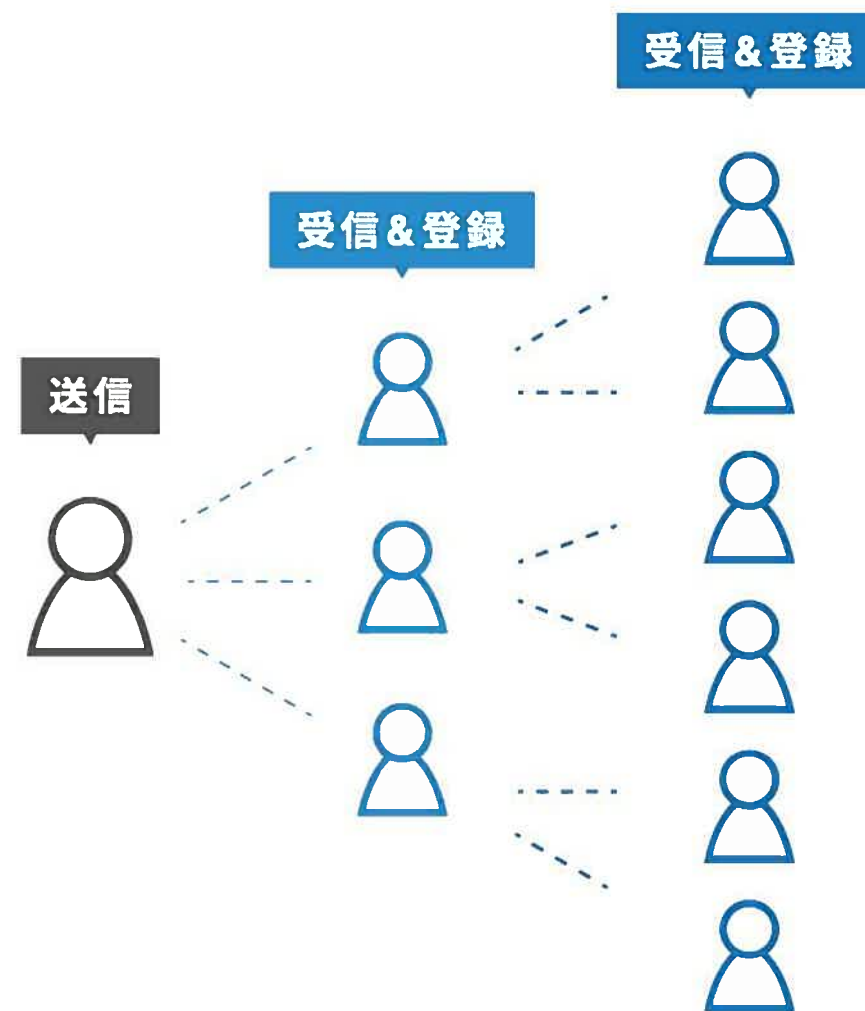
結果として、導入社数は5年目で**10万社**、  
電子契約市場におけるシェアは**80%**を超えています。



※電子署名法2条1項に定める電子署名を用いる電子契約サービスにおいて、有償・無償を含む発注者側ベースでの利用登録社数（株）東京商工リサーチ調べ 2020年3月末時点

## シェアNo.1がもたらすユーザーの認知・経験

電子契約市場においてシェア80%を超えているということは、送信者・受信者側含め利用体験をしている可能性が高く、受け入れられやすいサービスだと言えます。



# クラウドサイン導入企業(一部)



## 導入事例（各企業の導入理由）

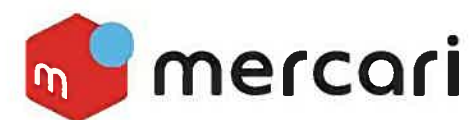


### 導入の決め手

- ・ 運営企業や法的サポートへの安心感
- ・ 取引先企業の受け入れやすさ

### 導入後の効果

- ・ 電子契約による業務効率化と契約書の一元管理に成功



### 導入の決め手

- ・ サービス提供会社の柔軟性や対応速度
- ・ チャットサポートなどの対応体制

### 導入後の効果

- ・ 契約の締結状態の可視化の実現



### 導入の決め手

- ・ 自社,取引先双方が使いやすいUX/UI
- ・ 日本国内のサービスであること

### 導入後の効果

- ・ 契約締結までのスピードの大幅改善



### 導入の決め手

- ・ 自社CRMとのシームレスなAPI連携
- ・ 電子署名+認定タイムスタンプが揃っていること

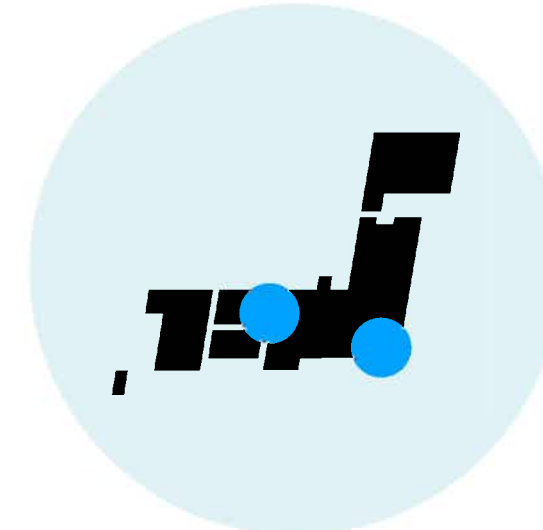
### 導入後の効果

- ・ CRMと連携したことによる契約業務の効率化



## 法律の専門家監修の 電子契約サービス

弁護士監修の機能開発で電子帳簿保存法に準拠「認定タイムスタンプ」を採用し、法的に安心してご利用いただけます。  
現行の法令への対応だけでなく、これからの電子契約自体の普及に向けて、積極的に活動を行っております。

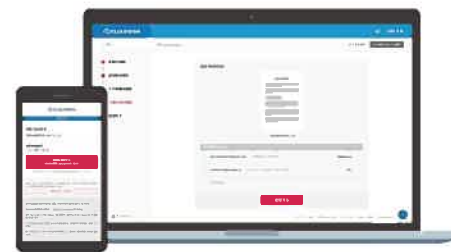


## データは国内2拠点で保管

サーバーについては、関東/関西圏にそれぞれ物理的に所在するデータセンターのクラウドサーバー上で相互にバックアップしております。  
また、サーバーについての準拠法も日本法としています。



電子契約が初めての受信者も、マニュアル不要で操作が簡単。



2018年度グッドデザイン賞 ベスト100



機能もUIもシンプルで使いやすい。

基本操作は、はじめから終わりまで一本道なので迷いようがない。

<https://www.itreview.jp/products/cloudsign/reviews/41706>



押印が本当に手間だったのでクラウドサインによる電子契約で

大幅に楽になりました。他社サービスより直感的で使いやすいです。

<https://www.itreview.jp/products/cloudsign/reviews/36593>

レビューは [ITreview](https://www.itreview.jp) より引用

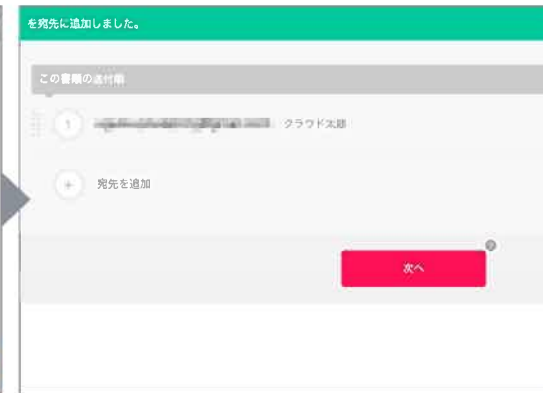


# 操作イメージ・機能・料金

## 送信者側



**1** 書類をアップロード



**2** 宛先入力



**3** 帳票作成



**4** 送信

## 受信者側



**1** メールで受信



**2** 契約書確認・合意

## 送信者・受信者



**締結完了・契約書受信**

締結済み書類は送受信者双方に電子メールで配信され、クラウド上にも自動保存されます。

## メール認証 + 2段階・2要素認証で<本人性>を担保

送信者が指定したメールアドレス宛て、一定期間のみアクセスできる長大・ユニーク(一意)なURL<sup>※</sup>を送信。

※1秒間に1億回ランダムなURLを作成してアクセスを試みても、宇宙の寿命よりはるかに長い期間が必要なもの

本人性とセキュリティをより確かなものとする、以下の設定も可能です。

- **アクセスコードによる2段階認証**
- **アプリによる2要素認証**
- **IP制限 (ビジネスプラン)**



弁護士ドットコムが、PDFファイルに

- ・ 誰が (メールアドレス認証)
- ・ いつ

同意したかを記録・表示。

署名以降改ざんされていないことを  
公開鍵暗号技術により担保します。

署名

☰ - すべてを検証

> バージョン 1: Bengo4.com, Inc. により署名済み

✓ バージョン 2: Bengo4.com, Inc. により署名済み

署名は有効です:

信頼ソース取得元: Adobe Approved Trust List (AATL)

文書は、この署名が適用されてから変更されていません

署名者の ID は有効です

署名時刻は署名者のコンピューターの時計に基づいています。

署名は LTV 対応です

✓ 署名の詳細

理由: [Redacted] によって 2020-07-22 17:41:06.459032058 +0900 JS に作成されました。

証明書の詳細...

最終チェック日時: 2020.08.07 11:36:42 +09'00'

フィールド: PDFL2 ページ: 1

[このバージョンを表示](#)

> バージョン 3: Bengo4.com, Inc. により署名済み

> バージョン 4: Bengo4.com, Inc. により署名済み

> バージョン 5: Bengo4.com, Inc. により署名済み

> バージョン 6: Bengo4.com, Inc. により署名済み

> バージョン 7: Bengo4.com, Inc. により署名済み

✓ バージョン 8: Bengo4.com, Inc. により署名済み

署名は有効です:

信頼ソース取得元: Adobe Approved Trust List (AATL)

文書は、この署名が適用されてから変更されていません

署名者の ID は有効です

署名時刻は署名者のコンピューターの時計に基づいています。

署名は LTV 対応です

結核検疫検査

本検査は、検疫官が検疫所で行った検疫検査の結果 (以下「本検査」といふ。) として、専ら  
はご自身の責任で検疫官の検査結果に基づいて、以下のとおり検疫官 (以下「検疫官」といふ。)  
に提出する。

氏名	住所: 東京都港区六本木 6-6-0000-00	
	会社名/名称: 株式会社クラウドサイン	
	住所: 東京都港区六本木 6-6-4 丁目	
	会社名/名称: サイン株式会社	
検印人の場合、会社名に加え、代表取締役等の氏名、氏名を記入して下さい。		
発行時刻		
発行時刻		
発行時刻		
発行時刻		
発行時刻		
発行時刻		
発行時刻		
発行時刻		

誰が

いつ

## Business

高度なリスク管理機能

---

¥ **1,200,000**~ /年額固定費用

---

初期費用	0円
月額固定費用	100,000円
従量課金（100件パッケージ）	20,000円
ユーザー数,送信件数	無制限

---

書類作成・送信

---

電子署名+タイムスタンプ

---

テンプレート作成・管理

---

チーム管理

---

Web API

---

アカウント登録制限

---

IPアドレス制限

---

承認権限設定

---

高度な管理機能

---

SSO（シングルサインオン）機能

---

電話サポート

## Standard

全ての基礎機能

---

¥ **120,000**~ /年額固定費用

---

初期費用	0円
月額固定費用	10,000円
従量課金（100件パッケージ）	20,000円
ユーザー数,送信件数	無制限

---

書類作成・送信

---

電子署名+タイムスタンプ

---

テンプレート作成・管理

---

チーム管理

---

Web API

※契約期間は1年ごととなります。表記の価格は税抜きです。

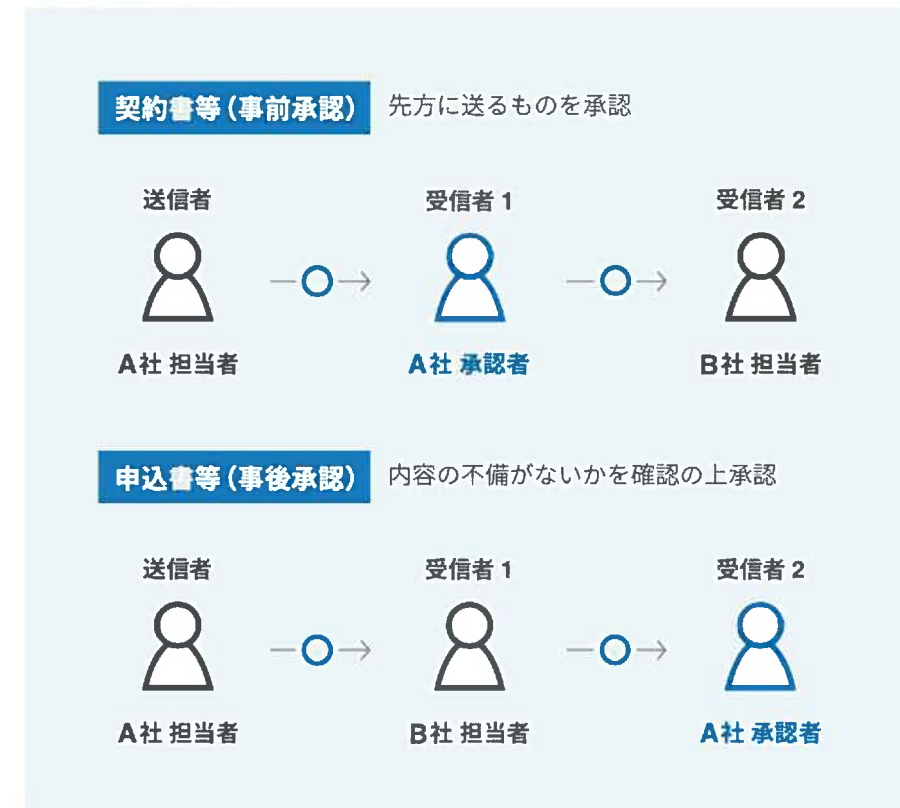
## 承認権限

(社内の承認者を送信フローに含めないと送信できない機能)

文書の押印が権限のない者によるものだった場合、その文書の真正な成立が認められないのと同様、契約締結権限者以外の者が権限者からの委任/承認なく会社を代理してクラウド上で契約締結した場合、無権代理(民法113条1項)を主張され、契約が無効となるリスクが生じ得ます。

承認権限を使用することで、メンバー権限のアカウントを付与された社員が、**本来社内の契約責任者を通さなければならない契約を無断で送信してしまうリスク**を防ぎます。

### ○ 送信できる

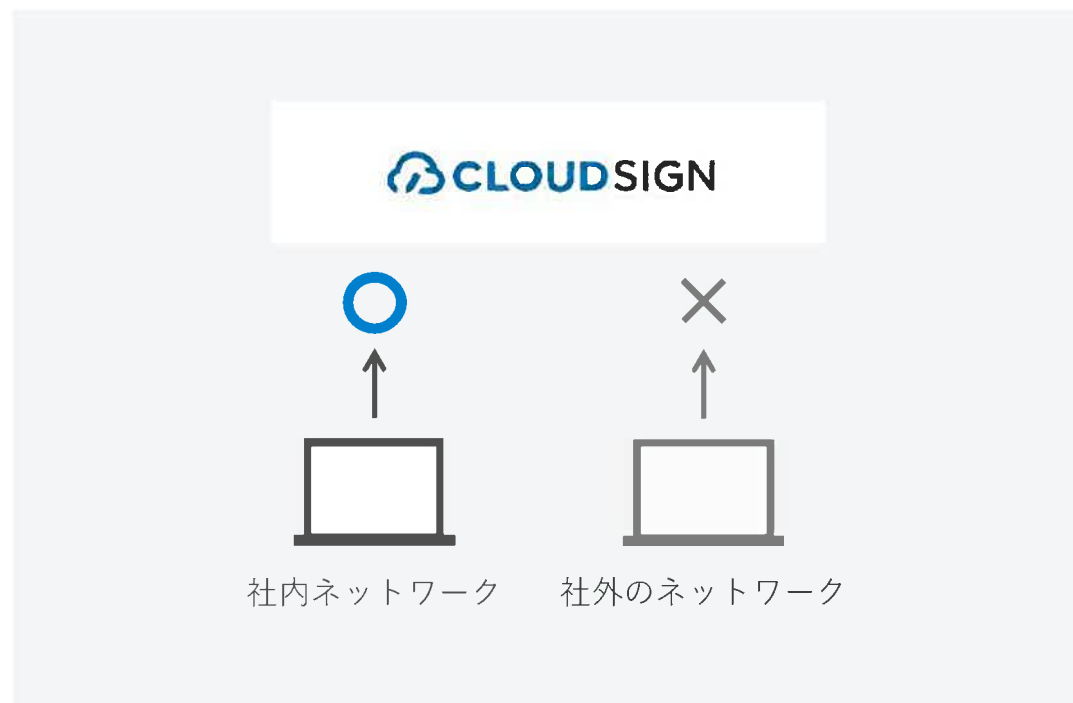


### × 送信できない



## アクセス制限(送信側)

登録されていないIPアドレスからクラウドサインへのアクセスを制限する機能。より厳格な内部統制を望む企業では、アクセス制限を有効にしておくことで、たとえば社内ネットワークに接続している状態でのみクラウドサインでの文書送信を認めるといった制御が可能です。



## SSO(シングルサインオン)

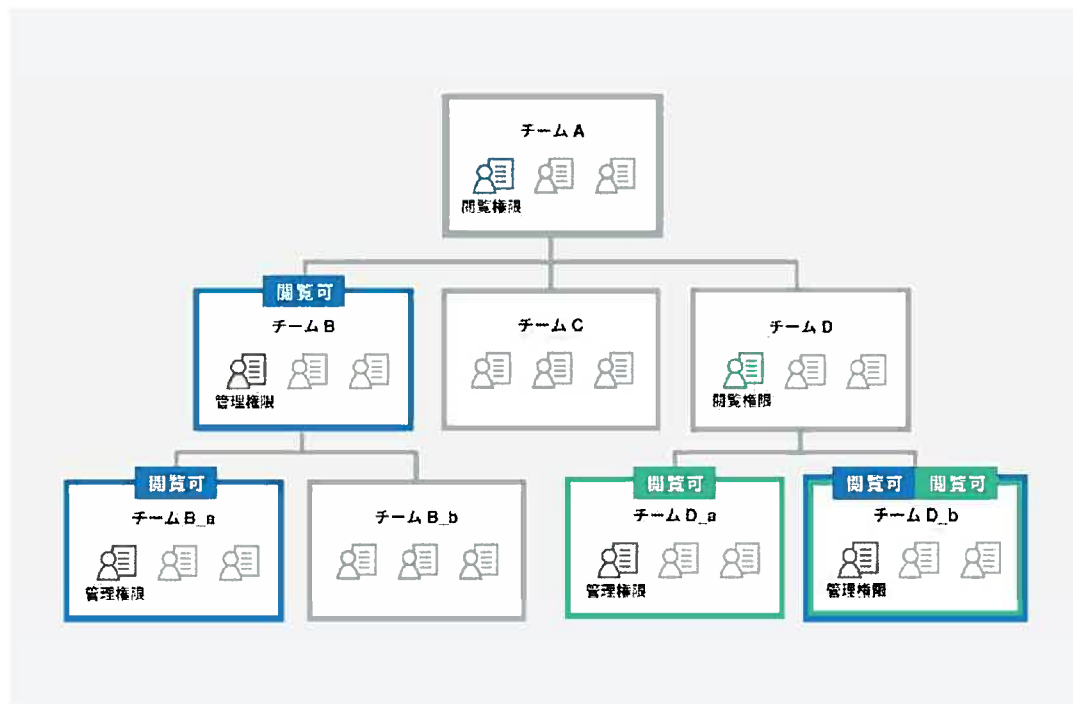
SSOとは、一度のユーザー認証で複数のシステム・サービスの利用が可能になる機能。管理者側は社員のアカウントによるクラウドサインへのログインを統制することができ、利用者は一度IDプロバイダでログインをすれば、クラウドサインではログイン操作なく利用を開始できるというメリットがあります。





## 高度な管理機能 (複数部署/子会社閲覧設定)

法務など管理部門が別アカウントの締結書類などを閲覧可能に。  
この機能により、クラウドサインを導入している複数の部署や、法務機能を持たない子会社などの契約書類を見ることができます。



## 登録制限

自社社員が自由にクラウドサインに登録する事を制限する機能です。  
制限をかける事によって、自社の他の社員がウェブサイトからクラウドサインにアカウント登録し、取引先と無断で契約するといった事を未然に防ぎます。



## 書類インポート機能

紙で締結した書類をお客様自身でスキャン、PDF化し、クラウドサインにアップロードすることができる機能です。  
取引先都合で紙で契約した書類や過去の書類、他社サービスで締結した書類をクラウドサイン上で一元管理することができます。



紙の契約書をスキャンしてPDF化し  
全ての契約書を一元管理

## AIによる書類情報の自動入力

クラウドサインで締結を行った書類、インポートした書類の書類情報（締結先の企業名、契約開始日・終了日、取引金額、自動更新の有無など）が自動で入力されます。



契約締結日などの書類情報を解析して  
クラウドサインに自動入力



クラウドサインが契約管理台帳に  
クラウドサインにて一元管理可能

✔ 契約書の検索が一瞬で

倉庫から取り寄せるので3営業日必要

🕒 10秒程度で検索し表示可能

✔ 全社の契約書の把握が可能に

事業部のキャビネットに眠っている

📁✔ 法務が全社の契約書を把握

✔ 期限管理が可能に

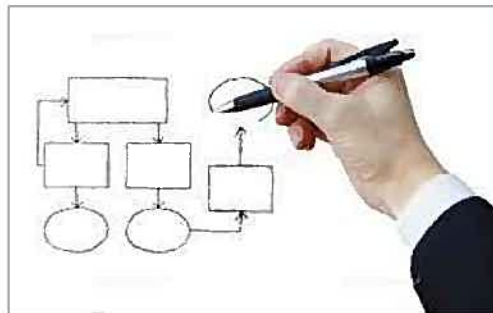
現場管理だと解約・更新漏れが頻発

🔔 自動アラートで期限管理可能

料金：書類インポートオプション 月額10,000円～

10万社の導入実績が生み出す  
クラウドサインの  
「導入支援コンサルティング」

## 電子契約用の運用体制 (フロー) 構築



## 取引先への説明会実施



## 社内関係者向け説明会の実施



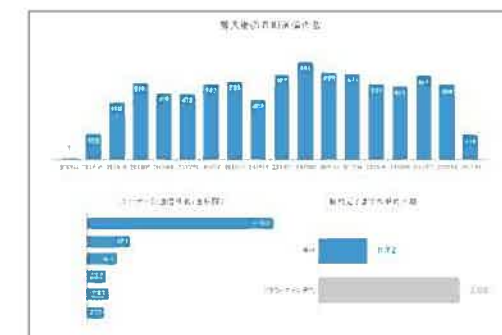
## 運用スタートまでのタスク表作成

タスク名	開始日	終了日	進捗
導入準備	2020/01/01	2020/01/31	完了
システム構築	2020/02/01	2020/02/28	完了
テスト実施	2020/03/01	2020/03/31	完了
運用開始	2020/04/01	2020/04/30	完了

## 取引先への説明資料作成



## 導入後のレビュー会実施



## メニュー

## 費用

合計 700,000円 (税別)

### ■ヒアリング+業務フロー図作成

電子契約での業務フローを設計いたします

コンテンツ：ヒアリングシート、業務フロー図

### ■利用計画表作成&キックオフミーティング

利用開始までのToDoを可視化させます

コンテンツ：利用計画表 (ガントチャート)

### ■説明会実施

社内向け&取引先向け説明会を1度ずつ実施いたします

コンテンツ：電子契約についてのガイド、送信者マニュアル、受信者マニュアル

### ■振り返りレポート作成&振り返りミーティング

利用開始3ヶ月後に振り返りレポートを作成いたします

コンテンツ：振り返りレポート

※費用は初月にご請求。

※利用計画表作成後のキックオフ会議と振り返り会議は対面での打ち合わせを想定しておりますが、東京23区外の場合は別途交通費を頂戴します。

※説明会について東京23区外の場合は別途交通費を頂戴します。

※その他オプション費用については別途お見積もりさせていただきます。

※別途電話サポートやメール、チャットサポートもございます。



## 紙の契約書をまとめて電子化

### 過去の契約書を一括データ化 クラウドサイン SCAN



過去に締結した紙の契約書をデータ化し、「クラウドサイン」上で管理をするための作業を全て代行するサービスです。

## 紙の契約書を定期的に電子化

### 定期的に一括データ化 クラウドサインSCAN

定期便



クラウドサインで定期的に契約書のスキャンを実施し、PDFデータおよび書類情報のCSVファイルを納品するサービスです。

### 自分のペースで都度データ化 書類インポート機能



紙で締結した書類をお客様自身でスキャン、PDF化し、クラウドサインにアップロードすることができる機能です。



契約管理業務をAIにより自動化

# CLOUDSIGN AI

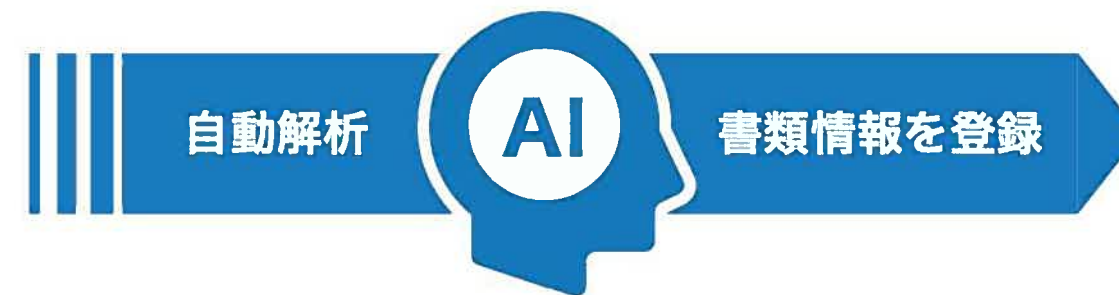
契約書データ



クラウドサインで締結した契約書



紙で締結した契約書  
(PDF化し、アップロードしたもの)



クラウドサインで管理



- ✓ 契約締結日
- ✓ 契約相手名称
- ✓ 解約通知期限
- ✓ 契約開始日
- ✓ 自動更新有無
- ✓ 取引金額
- ✓ 契約終了日

AIによる自動入力で契約管理にかかる手間を削減

## テンプレート設定

貴社の契約書の雛形をPDFファイルでテンプレートとして保存し、書類の送信時に呼び出すことが可能。

## 帳票作成

アップロードしたPDFに、フリーテキスト欄やチェックボックス欄、押印欄を設定し、帳票を作成。

## ステータス確認

相手先の開封状況（開封済みか、開封時間なども把握）、誰まで承認が終わっているかなどのステータス確認

## リマインド機能

ボタン一つで、なかなか承認しない相手先へのリマインドも可能。  
（期限切れのURLの再発行にも使用可能）

## 承認権限機能

ビジネスプランのみ

社内の承認者を送信フローに含めないと送信できない機能。

## アクセス制限

ビジネスプランのみ

登録されていないIPアドレスからクラウドサインへのアクセスを制限。

## 二要素認証

送信者が設定したアクセスコードを、受信側が画面に入力してから書類を閲覧できるようにする機能。

## 転送機能

書類を受信した相手先担当者が、相手先社内の契約締結権限者に転送することが可能。

## インポートデータ保管

オプション

紙で締結した契約書をPDF化して、クラウドサインに取り込むことで、一元管理が実現可能

## 検索機能

契約書名、受信者側の氏名、会社名、メールアドレスで検索はもちろん、契約期間や金額などでも検索も可能。

## アラート機能

解約通知期限などの年月日データを入力し、アラート設定することで、契約の更新漏れや解約漏れを防げることが可能。

## 一括帳票作成/送信

特定の雛形契約書に、CSVデータを流し込むことで、複数の書類を一括作成し、ワンクリックで一斉送信が実現可能。

## 権限設定

締結済み書類を閲覧する権限、メンバーを追加する権限など、各種権限を任意のメンバーのみに設定可能。

## 複数部署/子会社閲覧機能

ビジネスプランのみ

法務などの管理部門が、別アカウント（社内の他事業部や管理する子会社）の締結書類などを閲覧可能。

## SSO（シングルサインオン機能）

ビジネスプランのみ

SAML2.0の認証を用いたSSOを設定することができます。これにより、IDプロバイダ (IdP) でメールアドレスとパスワードを一括管理し、セキュリティ強化を実現できます。

## AIによる書類情報の自動入力

オプション

クラウドサインで締結した書類およびインポートした書類の情報をAIによって自動入力する機能

「クラウドサイン」をよりご活用いただくために

### サービス連携API

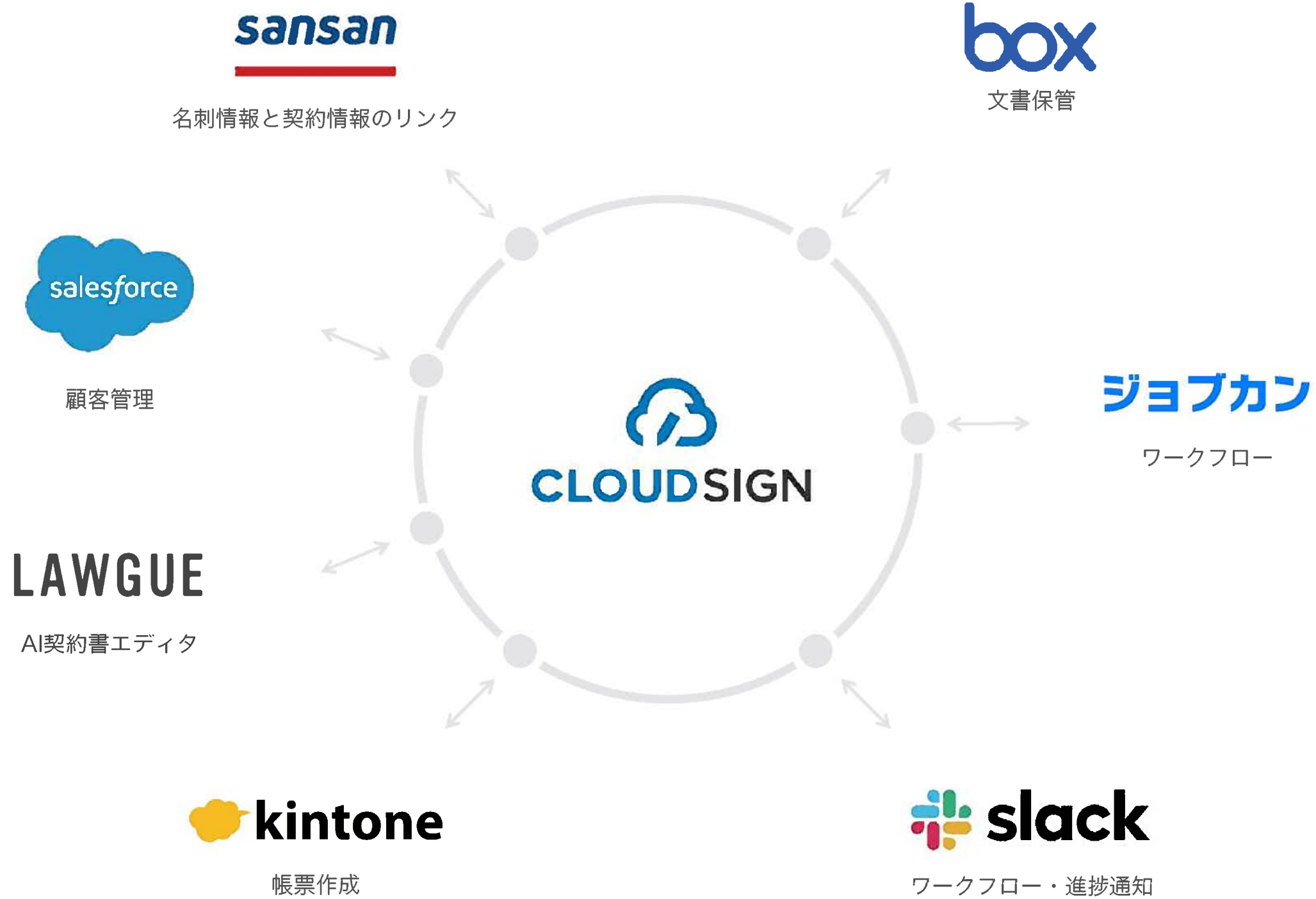
自社サービスの申し込みフォームなどを用いてAPI連携し、お申し込みから契約書の作成、契約締結を全てWeb上で、完全に自動で完結させることができます。

### 基幹システム連携

Salesforceやサイボウズなど、基幹システムをAPIで連携することにより、社内稟議のワークフローと契約締結業務の自動連携が可能となります。

#### こんなお悩みを解決できます

- ・ 送信先・共有先の誤記入・誤送付を防ぎたい
- ・ 社内の稟議手続きと契約締結から保管・管理までの業務を連動させて効率化したい
- ・ 大量の契約締結業務を限られたリソースで行いたい



## 貴社では、いくつ当てはまりますか？

### 現場が抱える課題

- 1 稟議降りてから契約締結までに1週間はかかる
- 2 先方に送付した契約書をなかなか回収できない
- 3 契約書が先方の社内でどんな状態かわからない
- 4 契約締結が遅れることで、売上が翌月にズレたりする
- 5 拠点が複数あるので、契約書の押印申請に社内便を使っている
- 6 社印が本社にあり、遠隔地の拠点からは郵送で押印をもらっている
- 7 上司が出張していて、押印申請が止まる
- 8 電子稟議システムを導入しているが、稟議降りた後の押印申請は紙のまま
- 9 いくらの印紙が必要か、調べるのが面倒

### 管理面での課題

- 10 少ない人数での契約作業が大変（製本、印刷、郵送、保管など）
- 11 スペース的にキャビネット保管に限界をそろそろ感じている
- 12 いざ、キャビネットを探しても、あるはずの契約書がなかなか見つからない
- 13 契約書のスキャンがそもそも面倒（文書管理システムに入れるため）
- 14 文書管理システムで検索しても、あるはずの契約書が見つからない
- 15 ペーパーレス化を進めたいけど、何から進めていいかわからない

### 全社的に抱えるコストの課題

- 16 収入印紙のコストがかさんでいる
- 17 グループ会社間で印紙貼るのが勿体無く感じる
- 18 各種書類の郵送代が高い
- 19 契約書返送用のレターパックを折りたたんで入れている
- 20 書類を紙で発行し封入し発送するために人員コストをかけている（派遣社員やアウトソーシング含む）
- 21 郊外に書類保管のための倉庫を借りており、年間でかなりコストがかかっている